

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	産業環境部
	17033	みえ森と緑の県民税市町交付金事業	課名	農林振興課 農林政策G・農林施設G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	01:一般会計
	基本施策	08:自然との共生		06:農林水産業費
	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全		01:農林水産業費
戦略プロジェクト	04:「ジモトノココロ」プロジェクト	06:林業振興費		
事業予定期間	H 26 ~ R 5 年度	主な根拠法令要綱等 みえ森と緑の県民税市町交付金事業実施要領		

② 目的・概要	対象	市民・団体
	目的	税導入の趣旨である、近年の集中豪雨などにより山地災害が増加していることから「災害に強い森林づくり」と、将来にわたり災害に強い森林を引き継いでいくため「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進する。
概要	「災害に強い森林づくり」として、危険木の伐採や荒廃した里山や竹林の再生など「暮らしに身近な森林づくり」に取り組む。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」として、人材の育成や学校等における森林環境教育・木育教室を開催し「森と木材と市民をつなぐ学びの場づくり」に取り組む。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○森と木材のふれあい事業 <ul style="list-style-type: none"> ・森の講座(チェーンソー講習)の開催 ・幼稚園・保育園での森林学習等 ○里山・竹林生活環境保全事業 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会等による竹林整備の支援 ○鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動を支援 (参考:他事業にて実施するもの) ○危険木等伐採事業(公園管理)	<ul style="list-style-type: none"> ○森と木材のふれあい事業 <ul style="list-style-type: none"> ・森の講座(チェーンソー講習)の開催 ・幼稚園・保育園での森林学習等 ○里山・竹林生活環境保全事業 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会等による竹林整備の支援 ○鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動を支援 (参考:他事業にて実施するもの) ○危険木等伐採事業(公園管理)	<ul style="list-style-type: none"> ○森と木材のふれあい事業 <ul style="list-style-type: none"> ・森の講座(チェーンソー講習)の開催 ・幼稚園・保育園での森林学習等 ○里山・竹林生活環境保全事業 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会等による竹林整備の支援 ○鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動を支援 (参考:他事業にて実施するもの) ○危険木等伐採事業(公園管理)	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○森と木材のふれあい事業 <ul style="list-style-type: none"> ・森の講座の開催 1回 ・森林学習などの開催 3回 ○里山・竹林生活環境保全事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ウッドチップパーの貸出しによる里山・竹林整備面積0.05ha ○鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント3回開催 参加人数 300人 	<ul style="list-style-type: none"> ○森と木材のふれあい事業 <ul style="list-style-type: none"> ・森の講座の開催 1回 ・森林学習などの開催 3回 ○里山・竹林生活環境保全事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ウッドチップパーの貸出しによる里山・竹林整備面積0.09ha ○鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント6回開催 参加人数 200人 	<ul style="list-style-type: none"> ○森と木材のふれあい事業 <ul style="list-style-type: none"> ・森林学習などの開催 3回 ○里山・竹林生活環境保全事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ウッドチップパーの貸出しによる里山・竹林整備面積0.1ha ○鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント 3回開催 参加人数 101人 ・スマートフォンアプリによる生物調査 106人 	
事業費	計画額	事業費	3,500千円	3,500千円	5,000千円
		国庫支出金			
		県支出金	3,500千円	3,500千円	5,000千円
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	3,487千円	3,485千円	5,208千円
		国庫支出金			
		県支出金	3,457千円	3,455千円	4,447千円
		地方債			
		その他			611千円
	決算額	事業費 ①	3,465千円	3,482千円	5,198千円
		国庫支出金			
県支出金		3,457千円	3,455千円	4,447千円	
地方債					
その他				611千円	
人件費	一般財源	30千円	30千円	150千円	
	総人件費 ②	3,925千円	3,920千円	3,952千円	
	一般職員	3,925千円	3,920千円	3,952千円	
	所要人員	0.50	0.50	0.50	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(①+②)		7,390千円	7,402千円	9,150千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称 森の講座(チェーンソー講習)受講者数	計画値 10	10	10
		活動	実績値 4	5	0
			単位 人	人	人
	②	名称 里山・竹林整備面積	計画値 2	2	2
		地域まちづくり協議会や森林保全団体による里山・竹林整備面積	実績値 0.05	0.09	0.10
			単位 ha	ha	ha
	③	名称	計画値		
			実績値		
			単位		

⑤ 事業の改善	【前回評価の対応方針の概要を記入】 森林の持つ多面的機能について知っていただく機会を設ける。 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会イベント参加者で森林、環境への関心の高い方にイベント企画などに関わってもらおう。 前年度に引き続き、森林公園「やまびこ」の整備を行う。
	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 森林林業グループによるイベント、鈴鹿川等源流の森林づくり協議会活動の支援により、森林の持つ多面的機能について情報発信に努めた。鈴鹿川等源流の森林づくり協議会イベント参加者から森林、環境に関心の高い方が準会員として、令和4年度以降の協議会活動に参画することとなった。森林公園「やまびこ」の八橋の一部整備、森林環境啓発パネルの設置し、森林環境学習の場としての環境を整えた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 「みえ森と緑の県民税活用計画」に基づき事業を実施した。みえ森と緑の県民税の2つの基本方針のうち「災害に強い森林づくり」では、里山・竹林を整備する団体へのウッドチップパー(木材粉碎機)の貸し出しや災害からライフラインを守るため樹木の事前伐採を行い、「県民全体で森林を支える社会づくり」では幼稚園・保育園での木育や木工工作、鈴鹿川等源流の森林づくり協議会イベント支援を行った。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 災害からライフラインを守る事前伐採事業の実施を優先したことから、森の講座(チェーンソー講習)は見送った。しかしながら、「みえ森と緑の県民税活用計画」どおりに実施できたことで、みえ森と緑の県民税・2つの基本方針の推進に寄与できた。 豊かな自然、森林との関係が身近となる機会を創出し、自然や森林と共生する意識の醸成、森林の持つ多面的機能への理解向上を図ることができた。	B まずはまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 みえ森と緑の県民税・2つの基本方針「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」をより広く浸透させ、豊かな森林を次世代に引き継ぐため、継続して取り組むことが大切である。	次期実施計画への方向性 <input type="checkbox"/> 継続(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 継続(縮小) <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会による、多様な発想を元に企画される森林や里山の楽しみ方に関するイベントをとおして「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を広く浸透させるため、引き続き、鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動支援を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 森林関連イベントの多様化により市民の方の選択肢が増えることで、多様な市民の方の参加が期待でき、その方による情報発信により「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進が期待できる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	産業環境部 農林振興課 農林政策グループリーダー 葛西 裕二
【最終評価者】	産業環境部 農林振興課長 水越 洋光

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A	A	A
	成果	B	B	B	B	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		5,208 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	5,208 千円
	令和4年度への繰越額	千円